

静岡県掛川市と佐伯市・大分森林管理署 意見交換

～ 掛川市農林課 地域林政アドバイザーと今後の森林整備の推進について意見交換 ～

1月30日から31日の2日間、大分県産材の活用状況の見学と静岡県掛川市における森林経営管理制度の取り組みについての意見交換を行うため、佐伯市農林課 染矢主任、大分森林管理署 植薄森林技術指導官（佐伯市林業振興協議会委員）の2名が東京・静岡県掛川市農林課を訪問しました。

1日目は、本年7月に開催される東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザを見学し、環境に配慮した持続可能な大会を実現するため国産材を使用して建設中で、資材は全国63自治体から約1,300m³の木材が提供され、そのうち大分県佐伯市からも提供されています。提供された材は、佐伯広域森林組合（代表理事組合長：戸高壽生）の協力により佐伯市の森林から搬出された木材で、柱や壁に使用され、大分県産材のPRも担っています。

2日目は、静岡県掛川市を訪問し、昨年スタートした森林経営管理制度の取り組み状況について意見交換を行いました。

意見交換では、掛川市農林課の、堀内係長、吉澤地域林政アドバイザー（元林野庁職員）から、森林経営管理制度を円滑に進めるため、掛川市の森林環境譲与税の活用について、その方向性を見出すために、10名の委員により「掛川市森林経営管理推進協議会」を立ち上げ現地調査や協議会の中で議論を深め、提言をいただいた経緯、今後の森林整備の推進について説明を受けました。

その後、佐伯市農林課の染矢主任から、佐伯市林業振興協議会の中で議論・答申した、未整備森林調査（業務委託）事業、再造林担い手確保支援事業、林業就業環境改善事業などの森林環境譲与税を活用した取り組みについて説明を行いました。

今回、掛川市農林課の方には業務ご多用中にも関わらず意見交換の場をいただいたことに対しまして感謝申し上げるとともに、今回、貴重なご意見を伺うことができたことから、今後、佐伯市における林業振興に連携して取り組んで行くこととしました。



左側席 手前から染矢主任、植薄森林技術指導官



右側席 手前から堀内係長、吉澤地域林政アドバイザー



掛川市役所屋上

【 建設が進む選手村ビレッジプラザ 】

